

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

大阪府泉大津市、和泉市

2. 参加法人

- ・ 泉大津市 : 泉大津急性期メディカルセンター
泉大津市立周産期小児医療センター
- ・ 社会医療法人生長会 : 府中病院

3. 理念・運営方針

(理念)

本法人は、泉州北部における将来の医療需要を見据えた持続可能な医療提供体制を構築するために、泉大津市立病院と府中病院の病床機能再編と連携強化に取組み、官民一体となって大阪府地域医療構想の確実な実現に貢献する。

(運営方針)

- ・ 診療機能の集約化を主軸とする病床機能の再編と相互協力のもと、適切な役割分担と質の高い病院運営を実践し、将来に渡って安定した住民本位の地域医療を提供する。
- ・ 安全性と品質に優れた病院給食を効率的かつ安定的に提供するために、法人内における給食・配食サービスの一元化を進める。
- ・ 大規模な地震や感染症の発生を想定した体制整備とBCP策定に法人全体で取組み、緊急時においても安心かつ安全な医療を地域住民に提供する。
- ・ 法人職員の資質向上と一体感の醸成を図るために、各種研修会・勉強会の共同開催や職種別・階層別の人材交流を積極的に実施する。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

① 医療従事者の相互派遣と適正配置

在籍型出向等のスキームを活用した人事交流の導入も視野に入れながら、医療従事者の相互派遣と適正配置による協力体制の構築に向けた諸施策を立案・実践する。

② 診療機能の分担と連携強化

参加法人が運営する病院の機能を再編するための諸施策を立案するとともに、連携強化に向けた取組みを進める。

③ 経営効率化への取組み

参加法人における医薬品、診療材料等の共同購入による効率的調達や、ICTを活用した医療情報の共有化を調整・検討するなど、経営の効率化に向けた医療提供の連携体制を構築する。

④ 給食・配食サービスの一元化

社会医療法人生長会が保有する院外調理センター「ベルキッチン」からの給食提供システム（ニュークックチル方式）を法人内各施設で導入し、安全性と品質に優れた病院給食の効率的な提供体制を構築する。

⑤ 災害や感染症発生時の医療提供体制

大規模な地震や感染症などの発生に備えて、法人内の緊急連絡体制を整備するとともに、非常災害用に備蓄する医薬品・診療材料の共同利用に関する協定を締結する。また、災害発生時には医療従事者による情報共有と相互支援を法人全体で行うとともに、検査・治療機器や医療設備等のリソースを有効活用するなど、病院機能を維持・継続するための体制を構築する。

⑥ 医療従事者の確保・育成に向けた取組み

医療安全、感染管理、接遇などのテーマ別研修会や職種別勉強会を共同で開催し、医療従事者の能力研鑽と医療サービスの品質向上を図る。また、職種・階層別の人材交流を積極的に行い、再編統合後の円滑な組織運営に向けた準備を行う。